

2021 年度理学部同窓会定期総会報告

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2021 年度の北里大学理学部同窓会定期総会は昨年度に引き続いて対面審議は中止とし、議案の表決を (A) Zoom によるオンライン方式、(B) 書面審議方式、(C) 議長委任から選択するという方式で開催しました。以下に当該定期総会の概要を示します。

1 開催日時・場所

- (1) 日時：2021 年 5 月 22 日 (土) 13:00
- (2) 場所：相模原キャンパス L1 号間 3F 31 講義室

2 出欠者

(1) 出席者 87 名

小池惇平 (HC1)、長原勝彦 (HC1)、坂口洋 (HC2)、西尾公男 (HC3)、竹澤美男 (HC4)、小沼和久 (HC6)、沼上清彦 (HC6)、石原裕三 (HC7)、麻生綱男 (HC8)、石川一郎 (HC9)、石水と夫 (HC10)、國香清 (HC11)、蓮沼良一 (HC11)、氏家重夫 (HC12)、島崎道広 (HC12)、藤本玲子 (HC12)、衣川佳美 (HC13)、雨宮純子 (HC14)、内田宏 (HC14)、森孝之 (HC14)、伏見尚登 (HC16)、山田淳 (HC17)、須貝昭彦 (HC18)、田所順一 (HC19)、八井田文子 (HC19)、甲斐恒人 (HC20)、鈴木芳弘 (HC21)、小泉博之 (HC22)、山下宣行 (HC23)、椎名文乃 (HC24)、小笠原正勝 (HC25)、竹尾文彦 (HC26)、長谷部浩司 (HC27)、伊藤昌史 (HB1)、木村武俊 (HB1)、佐藤康 (HC28)、千葉貴子 (HC28)、坂内健志 (HB2)、嶋宮民安 (HB3)、渡辺知広 (HC30)、秋本護 (HB4)、前川敏郎 (HB4)、平井正美 (HC31)、福山勝也 (HC31)、篠川裕子 (HB5)、石原稔 (HC32)、桑原美保子 (SP1)、酒井利奈 (SP1)、中條総子 (SC1)、吉瀬晴子 (SB1)、中野章代 (SC3)、藤井祐介 (SC4)、田村啓 (SB4)、吉本真紀子 (SB4)、田辺由美子 (SC5)、三浦慎一郎 (SB5)、國廣喜央司 (SP6)、東海林周平 (SC6)、佐々木千明 (SB6)、武者孔佑 (SP7)、千ヶ崎裕介 (SC7)、吉野成嗣 (SB7)、小野憲司 (SB8)、松本俊英 (SP8)、田草川英昇 (SP9)、荒木恒平 (SC9)、前田晴紀 (SC9)、江澤絵真 (SB9)、今村敦 (SP10)、齋藤昂良 (SB10)、菅谷大地 (SB10)、曾根靖人 (SC11)、奥田悠介 (SP12)、石毛達也 (SB12)、杉本愛 (SP15)、千葉慧 (SB15)、長谷川祐紀 (SP17)、逸見拓谷 (SC17)、山神廉弥 (SP18)、吉成英里佳 (SC20)、立石智美 (SC21)、霜田れもん (SB22)、加藤弘規 (SP23)、小宮隆寛 (SC23)、小寺穂乃花 (SB23)、原英寿 (SP24)、中山真志 (SC24)

(2) 欠席者 44 名

中野勝雄 (HC5)、星名達行 (HC15)、立松佐吉 (HC18)、飯島宏 (HC20)、櫛部一彦 (HC26)、矢口晶 (HB4)、村上裕章 (HC31)、井村幸介 (HB6)、平山幸司 (SP2)、河合匡 (SC2)、江島史緒 (SB2)、山本あゆみ (SP3)、矢野太一 (SC3)、小林琢也 (SB3)、小林麻衣 (SP4)、大西新 (SP5)、鈴木健太郎 (SC8)、森口友敬 (SB8)、富澤良弘 (SC10)、小林宣文 (SP11)、露木早紀 (SB11)、上村勇介 (SC12)、高寄美文 (SP13)、厚木将志 (SC13)、上村和豊 (SB13)、保住厚兵 (SP14)、神田章宏 (SC14)、新山勇人 (SB14)、田中雅史 (SC15)、南川晴紀 (SP16)、川崎貴之 (SC16)、藤川圭太 (SB16)、小田本実佳 (SB17)、新美恭 (SC18)、三田一帆 (SB18)、松本慧一 (SP19)、沖山悠太 (SC19)、梅川恵美 (SB19)、池谷侑紀 (SP20)、榎原里奈 (SB20)、

橘内凌汰 (SP21)、酒井皓平 (SB21)、八武崎力 (SP22)、佐々木友哉 (SC22)、小田祐介 (SB22)、野原歩 (SB24)

3 開会の辞 司会の蓮沼副会長 (HC11) から、総会の成立要件は、規約第 15 条第 1 項第 2 号により、「総会の成立は構成員の 3 分の 1 以上の出席を必要とする。」と規定されており、今回は、構成員 134 名に対して 87 名の出席 (Zoom 参加 20 名、書面審議 23 名、議長委任 44 名) があり本総会は成立することが報告され、開会が宣言された。

4 議長団の選出 蓮沼副会長から議長団 (正副議長および議事録署名人) の選出に関して説明が行われ、以下の議長団が提案され、全会一致で選任された。

議長：松本俊英理事

副議長：前川敏郎理事

議事録署名人：田村啓理事、齋藤昂良理事

5 報告及び決議事項

【報告事項】

以下の 2020 年度事業報告、2020 年度収支決算報告および 2020 年度監査報告が提示され、全会一致で承認された。

(1) 2020 年度事業報告

1) 会報の発行

同窓会報第 24 号 (通算 50 号) 2021 年 1 月 31 日 (日) に 6,500 部を発行した。

2) 学部教職員との懇談会の開催

2020 年 7 月 18 日 (土) に開催予定であった学部教職員との懇談会は、コロナ禍中における大学および理学部の意向を踏まえて中止とした。

3) 会員集会への援助

今年度集会援助申請は、1 件あり、開催中止になったが、事情を勘案して承認した。

4) ホームページの運用

以下の項目などをホームページで適宜更新した。

(1) 2020 年度定期総会 (要旨・予算・決算) の報告

(2) 2020 年度本会会務予定を掲載

(3) 2020 年度年会費納入のお知らせ

(4) 就職ガイダンスの開催 (理学部と共催) の報告

(5) 同窓会報第 24 号 (通算 50 号) を掲載

5) 会員情報の管理

6) 第 26 回就職ガイダンスの開催 (2020 年度理学部就職ガイダンスへの共催)

2020 年 10 月 28 日 (水)、L2 号館 204 講義室に於いて理学部との共催により、第 26 回就職ガイダンスを YouTube ライブで配信により開催 (無観客) した。内容は、就職支援講演、集団模擬面接、

質疑応答（教職課程を含む）とした。

7) 理学部若手教員学術集会（理学部の若手教員主催の勉強会「若手 Lab」）への支援

8) 第 15 回「卒業研究功労賞」の表彰

9) 準会員事業への協力（卒業記念パーティー）

新型コロナウイルス拡大防止の観点から卒業記念パーティーは中止となり祝い金贈呈はなかった。

10) 学部同窓会設立記念イベントへの協力

看護学部同窓会創立 30 周年記念式典は、延期となったが最終的に中止となり、紅緑会設立 50 周年記念式典は、同様の理由で次年度に延期された。

11) 退任教授への花束贈呈

2021 年 3 月 12 日（金）に開催された物理学科生物物理学講座、米田茂隆教授の退任記念講演会に出席し、本会から花束を贈呈した。

【決議事項】

第 1 号議案 新代議員選任（3 名）の件

学部から推薦された 2020 年度卒業生（理学部 24 期）の新代議員 3 名の選任が提案され、全会一致で承認された。

- ・物理学科 原 英寿 さん
- ・化学科 中山 真志 さん
- ・生物科学科 野原 歩 さん

第 2 号議案 交代代議員選任（1 名）の件

霜田れもんさん（SB22）を本会理事に推薦するにあたり、交代代議員として同学科同期の小田雄介さんが全会一致で承認された。

第 3 号議案 現任代議員一括再任の件

1966 年 3 月～2020 年 3 月卒業代議員については交代者を除き、全員一括で再任されることが、全会一致で承認された。

第 4 号議案 役員選任の件

以下の第 10 期役員候補者について、全会一致で承認された。

会 長 甲斐恒人（HC20）

副会長 蓮沼良一（HC11）、須貝昭彦（HC18）、田村啓（SB4）

理 事 島崎道広（HC12）、藤本玲子（HC12）、内田宏（HC14）、森孝之（HC14）、八井田文子（HC19）、千葉貴子（HC28）、木村武俊（HB1）、秋本護（HB4）、前川敏郎（HB4）、福山勝也（HC31）、酒井利奈（SP1）、中野章代（SC3）、松本俊英（SP8）、前田晴紀（SC9）、齋藤昂良（SB10）、霜田れもん（SB22）

〔計 16 名〕

監 事 長原勝彦 (HC1)、村上裕章 (HC31)

第5号議案 規約改正の件

止むを得ない事情がある場合は対面以外の方法で総会の審議や表決が可能なことを規約に明示しておくための改正案について全会一致で承認された。

第6号議案 2021年度事業計画案の件

以下の2021年度事業計画案が提案され、全会一致で承認された。

1) 会報の発行

同窓会報第25号(通算51号)を2022年1月に発行する。

2) 学部教職員との懇談会の開催

学部教職員との懇談会を2021年7月に開催する。

3) 会員集会援助の継続

同窓生が同期会等を開催する際、200名までは1名あたり200円を、201名以上は1名あたり100円を援助する。ただし、同一趣旨の会への援助は年1回までとする。

4) ホームページの運用

①新しい情報を会員へ提供するため、ホームページを随時更新する。

②SNSでの情報提供に関して引き続き検討する。

5) 会員情報の管理

本会の個人情報保護方針に即して、北里大学同窓会と連携しながら会員情報を管理・運営する。なお、会員集会援助に伴うDM用タックシールおよび当該名簿一覧表は継続的に提供する。

6) 第27回就職ガイダンスの開催(理学部と就職ガイダンスを共催)

2021年10月に理学部3年生、修士1年生および博士2年生を対象とした就職ガイダンスを理学部と共催する。

7) 理学部若手教員学術集会への支援

理学部の若手教員主催の勉強会「若手Lab」に対して援助する。なお、この会の活動は、理学部も認知しており、理学部(自己点検・評価委員会)から業績の評価対象になっている。

8) 北里大学同窓会公開講演会開催

開催延期になっていた本会担当の北里大学同窓会公開講演会を開催する。

9) 第16回「卒業研究功労賞」の表彰

卒業研究において学生の取りまとめ等、秀でた活動を行った学生に対して卒業研究功労賞を授与する。

10) 準会員事業への協力(卒業記念パーティー)

卒業記念パーティーに祝い金を持参する。

11) 紅緑会設立50周年記念式典への協力

紅緑会設立50周年記念式典に役員が祝い金を持参して出席する。

第7号議案 2021年度収支予算案の件

2021年度収支予算案が提案され、全会一致で承認された。

第8号議案 名誉会長選任の件

前会長の沼上清彦氏が全会一致で名誉会長に承認された。

6 質疑応答

麻生代議員 (HC8)：「理学部若手教員学術集会への支援」の援助金5万円はどのように使われているのか？

回答 (田村担当理事)：例年は会場費や懇親会費に使用してきたが、コロナ禍の現在は、学内で行い、学生の発表に対する奨励金と研究学術に役立てるような記念品のプレゼントなどに使用している。

麻生代議員：この5万円は有効な使われ方だと思うか？

回答 (沼上会長)：金額5万円では研究奨励金としては少なく、現状の金額では研究者育成の一助に使っていただくのが適切と考えている。

麻生代議員：この事業が実効性や発展性のあるものになるように考えてもらいたい。

回答 (沼上会長)：今後、甲斐会長のもとで、前向きに検討していただければと思う。

前田代議員 (SC9)：就職ガイダンスに対する学生の満足度はどうなっているのか。

回答 (甲斐担当副会長)：例年、終わったあと良かったという感想はいただいているが、今回の数字はまだ上がっていないので。評価についての数字がわかったら発表させていただきたい。

渡辺代議員 (HC30)：SNSの情報提供については引き続き検討するということであるが、北里大学理学部同窓会のツイッターアカウントの発信は2019年2月を最後に更新されていない。同窓会活動が停滞しているように判断されるのでケアした方が良いのではないか。

回答 (前川担当理事)：同窓会からの発信情報はそう多くはなく、どのように活用していくかは今後考えていく必要があると思うが、連絡チャンネルの一つとして使えるので削除は考えていない。役員間の連絡は、現在はメールレベルで用が足りている現状だが、Zoomなどオンラインでの会議はできるようになっており、役員間の情報ツールとしてはSlackも利用している。

前田代議員 (SC9)：会報送付部数6500部の試算はどうしているのか。

回答 (秋本担当理事)：会報の発行部数の試算ですが、新卒会員の増加分に対して送付できない連絡先不明会員の増加があり、実質的に発行部数はさほど増えていない状態なので、当該予算は据え置きとしている。

補足回答 (沼上会長)：不明会員の増加は好ましいことではない。同期会などの会員集会に対して、助成金や名簿のタックシールを提供する代わりに開催者に名簿のクリーニングをお願いしており、名簿の精度を上げるためにもコロナ禍が過ぎたら積極的に同期会を開催していただければと思っている。

奥田代議員 (SP12)：理学部同窓会費納入率1.3%の増減の情報があったら教えていただきたい。今後、減

少するようなら支障があるので同窓会の潤滑な運営のためにテコ入れが必要なのではないか。

回答（沼上会長）：理学部同窓年会費のみならず、北里大学同窓会年会費や学校法人北里研究所からの寄付金募集などで、納入率が一番低いのが理学部の卒業生であり、その理由は理学部が職能性に立脚していない学部であることに起因していると考えられる。理学部の学生は他学部と違い、同じ目的に向かっているわけではなく、それぞれの思いは入学時も卒業後もバラバラなので、理学部在校生に理学部や本会に対する思いや関心を高めるためのさらなる活動が必要だと思う。ちなみに現状は就職ガイダンスや若手研究者に対する支援活動にとどまっている。

補足回答（前川理事）：会費の徴収率を高める一つとして、銀行、郵貯、コンビニなど振込み方法の多様化があるが、いずれも会費に対する手数料のコストパフォーマンスが良くない。しかし、オンラインで振込手数料が低いものも出てきたので、多角的に検討していきたいと思っている。

麻生代議員（HC8）、渡辺代議員（HC30）：代議員の定年制はどうなっているのか、理学部同窓会規約第10条2項によると同学科同期が最後の一人になるまで選んでいくことになるわけで、検討する必要があるのではないか。

回答（沼上会長）：長原監事が総務担当副会長であった時に代議員のあり方に関する委員会を立ち上げて検討していただいた。その結果ですが、今後の代議員数の動向のシミュレーションによれば、卒業期の早い方から順次代議員が出せなくなり、増減がプラトー化する確率が高いというものだった。したがって、敢えて定年制を導入しなくても「同期同学科で会員数の減少などにより代議員を選出もしくは補充できなくなった場合は、当該期・学科の代議員を総会定足数における代議員数に含めない。」というような取り決めを設ければ済むというものであり、定年制によって代議員を絞るという考え方もあるのですが、広く意見をいただくためにも年配の方がいても良いという考え方である。